

2007年の来日公演で大成功を取めた超話題作がいよいよ名古屋へ!
今度は日本全国で「白鳥」旋風を巻き起こす!!

オーストラリア・バレエ団



音楽 P.I.チャイコフスキー
振付 グレアム・マーフィー
指揮 ニコレット・フレイヨン
演奏 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



The Australian Ballet
「白鳥の湖」
全4幕

photos: Jeff Busby

2010
10/21 (木) PM6:30開演 **愛知県芸術劇場大ホール** 5/29(土) AM10:00~発売開始!
主 催: 中京テレビ放送 企画・運営: 中京テレビ事業 S ¥19,000 A ¥17,000 B ¥12,000 C ¥8,000 D ¥6,000 学生 ¥3,000 (税込)

お問合せ
お申込み **中京テレビ事業 ☎052-957-3333** ★WEBでも受付!★

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F(月~金 AM9:30~PM5:30/土・日・祝日休業)

中京テレビ事業

<http://cte.jp>

チケットぴあ (Pコード:403-079) 0570-02-9999
愛知芸術文化センター-PG 052-972-0430
ローソンチケット (Lコード:40719) 0570-084-004
イープラス eplus.jp
栄プレチケ92(旧三越PG)、中日SC、他 有名プレイガイド

学生券

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込み下さい。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

※未就学児童のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。 ※プログラム内容等変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

…これは、どこかで聞いたプリンセスの物語。
 一見、幸福なロイヤル・ウェディング、でも王子には愛人が!

「白鳥の湖」

全4幕



3年前の来日公演で、新鮮な衝撃と感動をもたらして喝采を浴びた、あの「白鳥の湖」がついに名古屋へやってきます!

美しい湖をのぞむ王国で、華やかに執り行われているロイヤル・ウェディング。純白のドレスをひるがえしてワルツを踊る新婦オデットと洗練されたタキシード姿の王子ジークフリート。それは一点の曇りもない晴れやかな光景のはずだった。黒衣の男爵夫人の存在がしだいに増していくまでは。

彼女は、結婚前夜まで王子と逢瀬を楽しんでいた王子の愛人! その事実気づき錯乱したプリンセスが、幻影の白鳥の湖に見たものは…!?

オーストラリア・バレエ団40周年記念にグレアム・マーフィーによって創作されたこの「白鳥の湖」は、クラシック・バレエのヒロインであるオデットを、全世界が注視した英国王室の故ダイアナ元妃と重ね合わせた独創的な作品です。今も人々の心に痛ましい記憶として残る衝撃的なプリンセスの悲劇が、オデットとジークフリート、そして女性に想定されたロットバルト男爵夫人との三角関係になぞらえられ、凄絶な愛と裏切りのドラマが展開!

ドラマティックな作風で知られるマーフィーは、古典バレエの「白鳥の湖」を詳細に研究し、音楽構成をプティパ/イワノフ版より以前の、より悲劇性の強い原典に戻しました。また男爵夫人をハンガリー人とすることでチャルダッシュの踊りを第1幕に挿入、他の民族舞踊を削るなどの創意を加えました。3人の愛憎関係と心理を絶妙に描き出すパ・ド・トロワ、ハンガリー人の男爵夫人の激しい情熱を表現するチャルダッシュ、前傾した円台上で幻想的な美を見せる白鳥たちの群舞、黒一色のファッションブルな夜会に表れる純白のドレスのオデット——数々の魅力的な演出と振付が、見る者を息つく間もなく物語へと引き込みます!

スキャンダルの本家・英国で、保守的なことで知られる批評家たちから異例の絶賛を浴び、ここ日本でもバレエを超えた広い関心と高評を集めた、かつてないほど刺激的でドラマティックな舞台が、あなたを待っています!

数々の現代版「白鳥の湖」の中でも、もっとも衝撃的にして感動的な話題作をどうぞお見逃しなく!

振付: グレアム・マーフィー
 音楽: P.I.チャイコフスキー



【第2幕】湖



【第3幕】ロットバルト男爵夫人の夜会



【第3幕】オデットと王子

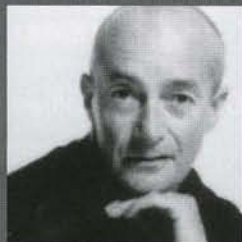


【第4幕】オデット

photos: Jeff Busby

あらすじ

ある王国で、ロイヤル・ウェディングが華やかに執り行われている。しかし祝宴の最中に、新婦のオデットは、新郎のジークフリートがある男爵夫人に心を寄せていることに気づく。錯乱するオデットは、王室の命令によりサナトリウムに入院させられる。打ち砕かれた彼女の心を癒すのは、夢の世界の「白鳥の湖」だけだった。時がたち退院したオデットは、夫を取り戻す決意をして、男爵夫人の夜会にのりこむ。突然現れたオデットの、けがれなき美しさに心を打たれ、ジークフリートは彼女を愛するようになる。嫉妬にかられて、男爵夫人はオデットをサナトリウムに戻そうとする。夜の闇へと逃げるオデットと、それを追うジークフリート。二人は湖畔で一つに結ばれるが、オデットの心が再び癒されることはなく、悲劇が訪れる…。



グレアム・マーフィー
 (「白鳥の湖」振付)



デヴィッド・マッカリスター
 (芸術監督)